



モチつき縄ないの体験

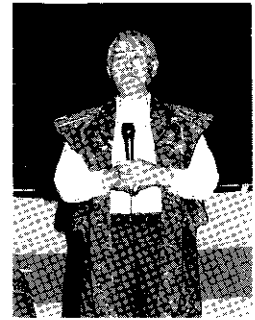
町内の小学校では11月上旬に収穫祭をおこないました。モチつき・縄ない・お年寄の昔話やゲームなど楽しい時間を過ごしました。

松小菅刈分校(左下)と蓬平小学校(右下)では来春統合のため最後の収穫祭となりました。

主な内容

- ふるさと仕掛人カレッジ
町民講座……………②
- 生涯学習シリーズ……………⑦
- みんなのトピックス……………⑧
- 東京発、文芸……………⑩⑪
- お知らせ……………⑫⑬

ふるさと仕掛人カレッジ(町民講座)



萩原茂裕氏講演

まちづくりは

人づくり

「心の角度を変えて
まちをみてみよう」

私は埼玉県浦和市に住んでいますが、市の記念事業で講演をした時にすぐ前の中学生に「浦和好きですか?」と聞くと、即座に「嫌いです」という言葉が返ってきました。人口四十六万人の市でさえもこの有様ですから、汽車などに乗ってどちらにお住居ですか?と聞くと自分の住んでいるまちを隠す人が多いようです。たとえば「新潟です」と

答えたとします。「市ですか?」
「違います」「じゃあ何処ですか?」「ちよつとバスに乗って」「どのくらい?」「2時間です。こんな具合でなかなか住んでいるところが出てきません。自分のまちが嫌いだとか、住んでいるまちの名前をはっきりと言えないような子供を育てているまちは絶対良くなりません。

中学生のうちからまちづくりはどうしたらよいかという教育をしなければだめなんです。大人になってからではもう遅い。

講師紹介

北海道旭川市出身。旧制旭川中、慶応大学経済学部卒業。専任女子大講師を経て昭和43年日本コンサルタントグループに入社。

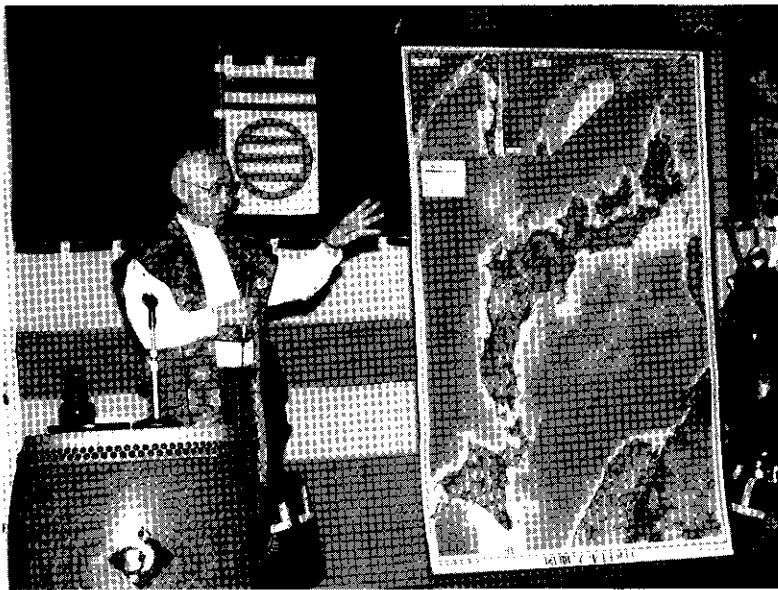
経営コンサルタントとして相談にあたっていたが、間もなく商品開発だけでなく地域開発に着目。以来、全国の町づくりプランナーとしてなくてはならない存在になる。昭和56年参与で退職後、『町づくりは人づくり』を唱え現代の松下村塾たらんとして『日本ふるさと塾』を主宰する。

全国の自治体に絶賛され、北海道旭川市の『買い物公園』をはじめ、ワインとステーキで成功した池田町、スキ一のワールドカップで世界的に有名になった富良野市や青森県の『ラブ八戸運動』。そして大分県の『1村1品運動』など、ユニークな実践例は他の地域にヒントを与え、活気に満ちたふるさとづくりの仕掛人として、全国500以上の地域振興計画に参画するこの道の権威でもある。

また、町づくりプランナーとしても昭和58年、日本青年会議所より『ナンバーワン講師』として紹介される。年間150便もの飛行機を利用し、僅かに自宅にいるときでも全国から首長や町づくり関係者が訪れ、『町づくりの名医』と評されるなど活躍中。

どうして自分の住んでいる町が嫌いであるか、それは東京というものさしで自分のまちを測ってしまうからです。人口が少ないから、東京から離れているから、給料が安いからだめであると思ひ込まれているからです。自分のまちを見つめ直す時、私はこの地図を見せるんです。(逆さに掛けた日本地図を指す)

「この地図を見て何か気が付いたことあったら言いなさい」と中学生に問いかけると「日本海が大きく見える!」という答えが返ってきました。確かに大きく見えます。なぜ大きく見えるかそれは角度を変えてみただけです。自分のまちに自信の持てない人は角度を変えてまちを眺めて



▲陣羽織姿で逆さに掛けた日本地図で熱弁する萩原氏

「野沢温泉村の変貌」

長野県野沢温泉村は豪雪で急

みたらどうだろうか。但しまちを眺める角度は物理的な角度ではなく、心の角度でなければなりません。心の角度を変えてまちを眺められる人をつくったところは、人口が少なくとも、交通が不便でも、自然条件が悪くてもまちは発展しています。これからそんなまちを紹介し

傾斜地、人口は四千八百人余、単作農業で何もない村でありました。

その村が日本一豊かな村になったのです。なぜ日本一になったか、その理由をお話します。

第一の理由は子供たちが将来にわたりこの村に残れるようにするにはどうしたらいいのか、真剣に考えたのです。その結果「雪を活かそう」ということになりました。そしてスキー場をつくることに決定したことです。

それも国や県から補助金をもらわれないで、自分たちの山の木を切り、売ったお金でスキー場をつくり、さらにそれを村に寄付をして村営スキー場にしてみました。

その結果、いまでは年間の売上額が四十六億円です。だから上下水道を100%普及できるので

第二の理由は村中でスキーを習い、スキー場を利用したことです。特に子供たちには徹底してスキーを教えたことです。その結果五千人に満たない人口でオリンピック選手が十一人、ワールドカップ選手権出場選手が二十人、日本一の経歴をもつ人が九十人、人口の比率にしたら世界一です。

第三の理由は野沢菜を徹底し

て売ったことです。今や全国どこに行っても野沢菜が売っています。野沢温泉村の村長室に行くと最初に野沢菜が出てきます。それほど徹底してしかも堂々と宣伝しています。

第四の理由は人情です。私は毎年正月に野沢温泉にスキーに行くのですが、一緒に行った家内が「役場はどこかしら？」というと、後ろにいたおばあちゃんが「私のご案内致します」と言うのです。

みんなでつくったスキー場のお客さんはみんなのお客さんであるという接しかたなんです。

野沢温泉村スキー場は日本一親切的なスキー場であるとの評判であります。

第五の理由は「スキーの村になる」というテーマがありました。かつては何もない村が自分の住んでいるところに自信を持った人はこれだけ変わるので、だから心の位置をかえる人づくりは大変な事です。

ホラ吹き町長が アイデア町長に

北海道池田町の例を紹介致します。このまちも税金が日本一高いしどうにもならないまちでありました。昭和三十二年に三十七才の町長が誕生しました。

新町長は『まちは商品だ』商品もまちもどんなものにしようかというスローガン・ビジョン、将来のテーマがなければいいものはできないと考えました。

秋に山歩きをしているとき、ふと山ブドウが目にとまりました。よく見ると周囲に沢山あるのです。沢山あるということはこの地域に合っているということだと思ひ、職員に相談してみました。ブドウが山に沢山あるからブドウ酒をつくったらどうか？「職員は全部横を向いてしまいました。ところが立ち上がったグループがいました。それは農協青年部です。

お堅い役場がブドウ酒をつくったのですよ。もちろん周囲からはキチガイ呼ばわりされました。さらに町長はワインをつくりました。近い将来日本でも必ずワインを飲む日が来ると確信したからです。しかし結果は失敗しました。

原料になるブドウを全国から集め植えました。池田町に合うブドウがなかったからです。

その後、いろいろ研究の結果、ソ連にあることがわかり、職員三人をソ連・ドイツ・山梨にそれぞれ製法の勉強に二年間派遣しました。食うに困った町が二年間も職員を派遣したのですか



講演に聞いている松中生徒

らすごい町長ですね。

やっとワインができ、職員に売らせたのですが、なかなか売れず町長は絶望感におちいりました。

そこで恥をかくのを覚悟で世界ワインコンクールに出品したところ見事に銅賞に入選しました。とたんに売れはじめたんですね。オリンピックの開催も重なり十勝ワインは製造が間に合わないほど売れました。

普通だとこれでメデタシとなるのですが、ここからが池田町の立派なところであります。

そのまちを助けてくれる産業だけに頼ってしまうことを称して城下町と言います。鉄鋼城下町、造船城下町いろいろあります。池田町はワイン城下町にはならなかったのです。

それはなぜか、目的と手段を知っていたからです。ワインをつくるのは手段で、まちを起すのが目的なのです。ワインだけでは食生活は豊かになりません。ワインと何を結びつけたら豊かになるか、それは酪農であると考え、ワインとステークを組み合わせました。ステーキを安く食べられるようにと町営食堂もつくってしまいました。結果的にはワインの消費量の増、酪農の振興、職場の確保に

つながっているわけです。

今では東京にレストランを三店も出しています。それも東京のほうからぜひ出して下さいと頼まれて出しているのです。

まちづくりの教訓

野沢温泉村と池田町から得た教訓を要約してみたいと思います。

第一の教訓はまちづくりは人づくりである。野沢温泉村はスキー場をつくることによって人をつくったし、池田町はワインもつくった人がもつくりました。

両方とも結果的に人をつくっているのです。何事をするにも、すべて人づくりの材料だと考える人が沢山いるまちは伸びる、そのような首長がいるまちは伸びることを教わりました。

第二の教訓は他人のために汗を流させるようなことを仕組んでいけるまちは伸びる。

紹介したまちはもちろんそうであるが、宮崎県では花を植える運動を進めているが、自分たちが汗して植えた花だから、その花のそばにゴミを捨てられると、自分の顔にゴミを投げられたような気になりますね、だから自分たちが拾うのですよ。

役所が植えるとゴミが落ちてくるから役所にひろいに来い、という電話が来るのであります。

第三の教訓は足元を見つめることのできるまちは伸びる。

今まで何げなしに見過ごしていた足元の材料を活かしたまちづくりが大切です。さらにみんなで作え楽しくやらなければならぬものであります。

松代町には早稲田大学の施設があるとのことですが、これは大変な財産ですね。今後もっともっと関係を深めて、どんどん活用していくということが重要です。

第四の教訓は十年以上継続できるまちは伸びる。

まちづくりで成功した例をみても、少なくとも十年以上かかっていますね。子供や孫のことまで考えて途中で止めなかったことが成功の秘訣といえます。

第五の教訓は若者が立ちあがり立ちあがらせるまちは伸びる。

若者が立ちあがり、立ちあがらせるといことはなにも特別なことをするということではない、世間の森羅万象すべて立ちあがり立ちあがらせる材料にして行かなければならないということであります。

若者が立ちあがっているまちは共通した条件があるようだ。

そのようなまちの首長は若者に魅力のあるリーダーであることです。

首長は選挙で選ばれた我々の代表です。我々の代表ということとはみんなを助けてあげなければならぬ人なんです。

自分が押さなかった人でも、なった以上は助けてやらなければよいまちはできません。

第六の教訓は情報選択能力のあるまちは伸びる。

今日の日本の情報は世界一多いです。どこにいても同じ量と、同じ質と、同じ速さで飛んできます。

しかしそれを如何に早く捕まえるということに汲々としてはいないだろうか。

それも大事だが、もっと大切なことは、「如何に自分に置き換えられるか」ということであります。

第七の教訓は自慢のできるものを観光資源ととらえているまちは伸びる。

観光課長がいらないまちでなぜ置かないのかと聞くと、決まって返ってくる言葉は「観光資源がないから」である。

観光とは自分たちの自慢できるものをつくることではないだろうか。いまあるものでも自分たちの自慢できるものに作りか



▲勇壮な「松亭太鼓」で
会場を盛りあげる

えていくことなのです。
第八の教訓はテーマのあるま
ちは伸びる。

商品化計画の第一のステップ
は用途をはっきりさせることで
あるという。まちにおいても、
「スローガン」「テーマ」「将来像」
「目標」「目的」「住民にとつての
まちづくりの合言葉」が必要で
あります。

松代町にとって早稲田大学か
ら来てもらうのはまちを良くし
たいという目標があるからであ
ります。

人生にもテーマが必要である。
立派な人は人生テーマをきちつ
と持っています。伸びる企業に
もテーマがある。ましてや伸び
ようとするまちにはテーマがな
ければなりません。

第四の教育

教育には3本の柱があるとい
います。「学校教育」「社会教育」
「家庭教育」です。とするなら
ば教育はこの三つにすべて含ま
れて良いはずであります。

それなのになぜふるさとが嫌
いになる子供が出るのだろうか
足りない教育があるからです。

ふるさとを好きにさせる教育
が無い、だからこれを第四の教
育としたい。

自分の息子の話をします。
私には男ばかり四人います。三
男が中学二年生の夏休みに自転
車で北海道一周旅行しました。
中学三年生の高校受験を控え
ている時に自転車で日本一周を
したいというんです。

子供の教育には目標が必要で
あります。だいたい中学二年生
の時に人生が決まります。中二
の時に大学が決まり、大学が決
まると高校が決まります。高校
が決まると中学でどんな勉強が
必要であるか決まるからです。

息子は将来旅行作家になりた
いといいました。だから高校で
は日本史をやり、大学では世界
史をやりたい、だからいま日本
一周をしたい、お金を三万円ほ
しいというのです。

私は内心よかったと思いまし
た。三万円では日本一周はでき
るわけがなく、途中で必ず痛い
目に遭うに違いないと思ったか
らです。

子供の教育は自ら学ばせるこ
とだと考えています。

しかし途中で善意のカンパが
あつたらしく、金が残ったので
もう少し足を伸ばすとの電話が
ありました。

日頃世界一周をしたいといっ
ていた息子がやめたというので
す。その理由は「去年と今年で

日本をだいたい見ることができ
た。見れば見るほど日本という
国がすばらしいと思った。だか
らもう少し日本を見てからでな
いと世界一周はやりたくない」
というのです。

私は息子に教わりました。ま
さに足元を見つめ直すことが大
事であります。

土地を大事にする農家の人で
さえ、子供に「おまえの仕事は
勉強だ、田畑の仕事を手伝う必
要はない」とか「勉強をしな
いとこのまちに残らなければな
らないよ」などと、さもこの
まちに残ることが悪いような口
ぶりです。だから良くするも悪
くするも親なんです。

息子は中学を卒業して十六才
の夏わずかなお金を持って成田
空港を飛び立ちました。途中ヒ
ツチハイクをしながら十七才の
誕生日はポルトガル、十八才は
スイス、半年間音信が途絶えた
後はアフリカの一帯西にいまし
た。アフリカからの息子の手紙
には餓死など悲惨な現状につい
て沢山書かれてありましたが、
最後に「今アフリカが必要とし
ているのは物やお金ではない。
アフリカ人を助ける人を送るこ
とである」とありました。

子供の彼が「国づくりは人づ
くり」であることを感じとって

いたのです。

「真のまちづくりとは」

まちづくりとは「きれいな、
感性豊かな子供たちの心を、そ
のまま育て上げていくこと」で
あると、やっと理解できました。
私は誰よりも沢山のまちづく
りのお手伝いをしてしていると自負
しています。その経験の中で、
うまく運んでいない事例もあり
ます。

その理由が判りました。それ
は子供たちや孫たちに視点があ
たっていないからです。

私たちがやることはすべて子
供たちや孫たちのためでありま
す。道路をつくることも、建物
をたてることも、行政がまちづ
くり計画書をつくることもすべ
て、子供たちや孫たちの心を育
めるためだと考えてつくって行
かなければならないのではない
でしょうか。

そのような考えでつくって行
ったならば、今までのつくり
方が全く違ってくる筈です。

(講演内容は要旨であり全文で
はありません)

元松代町助役

鈴木益藏氏

勲五等瑞宝章受章

地方自治に貢献した功績

今年の秋の叙勲で鈴木益藏さん（松代七十四歳）が勲五等瑞宝章を受章されました。

叙勲拝謁は去る十一月吉日、宮中『宮殿春秋の間』においておこなわれ、ご夫婦でご出席されました。

鈴木さんは昭和二十一年に当時の松代村役場に奉職以来、実に二十五年余にわたり職員として、特に総務課長として行政事務を誠実に遂行されました。

さらに、収入役として三年間、助役として十二年間在職し、町



の行政推進、産業・教育・文化スポーツの振興、住民の健康と福祉の向上に寄与するなど、地方自治の確立のため貢献した功績が認められ、今回の受章となりました。

退職後は町史編纂に携わり、現在は町文化財の保護や生涯学習の推進に活躍されております。ごそんじの松寿大学の学長さんも毎日を過ごされておられます。今後益々のご活躍を期待したいと思います。

松代町農業賞に

牧田直弘さん 横尾輝一さん

JAしづみ園芸部会 が受賞されました

松代町農業賞は農業経営の近代化を目指し、かつその活動が他の模範となる優秀な個人・団体を表彰することにより、町の農業活性化を図ることを目的に制定されました。本年度は個人の部で峠の牧田直弘さんと横尾輝一さんが、団体の部ではJAしづみ園芸部会が選ばれ、十一月三日、農業祭会場で関谷町長より表彰されました。

牧田さんは、地形を生かした基盤整備をすすめ、農業の機械化を先導的に実施され、規模拡大を図り、良質米生産に専心努力され効率経営を進められてい



牧田直弘さん

ます。また峠生産組合の初代組合長として地域農業の発展に貢献されました。

横尾さんは、水稻の規模拡大に早くから取り組み、記帳や経営診断で生産性の向上に努め、機械化の促進で経営の安定・充実を図られています。また農協の稲作部会長・青壮年部長等を歴任され、地域の稲作発展に寄与されてこられました。

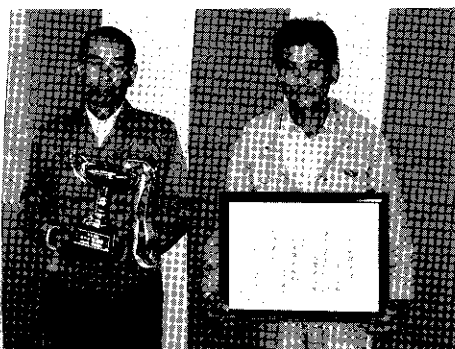
しづみ農協園芸部会は、夏秋なすを中心に園芸プラス水稻の複合営農の確立を目指し、昭和五十八年に結成されて以来活発な活動を進めています。



横尾輝一さん

部会員相互の連けいと研鑽により、生産技術の改善・規模拡大を図り、県内でもトップクラスの産地となり、松代町の園芸振興に貢献と実績をあげられました。

受賞された皆様方の今後の更なる活躍と発展を期待いたします。



▶ JAしづみ園芸部会相沢部会長（右）と佐藤副部会長

生き／活き／
人生のために

生涯学習

生涯学習

新語・話題語

PL制度(製造物責任制度)

欠陥製品の使用に起因する消費者の被害に対して、消費者が法的に損害補償請求を行う場合、製品の供給者側に故意または過失があったことを消費者が立証しなければなりません。

これを消費者の有利なように改め、故意、過失の有無にかかわらず、損害が発生すれば供給者がその賠償責任を負う(無過失責任)ことを制度化したものをPL制度と呼んでいます。

今、被害の責任については、“買手責任”から“売手責任”すなわち製造物責任への移行が世界の傾向のようです。

日本でも医薬品、化粧品などを中心にこの制度の導入が検討されています。

生涯学習シリーズ

No. 17

消費生活と生涯学習

今年は不況で、デパートの売り上げが落ちたとか、新車が売れなくて自動車工場が一時休止など、最近景気の悪い話が多いようです。

普通、消費生活というと所帯における物品の購入や消費のような、金銭の収支・家計をさしますが、最近は空気、野生動植物などの自然、無償で利用できる公共施設などを含めて消費生活の内容を広くとらえる傾向が強いです。

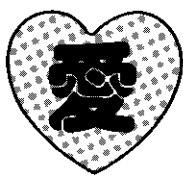
また、近年になって科学技術の進歩や産業の発展などにより、消費の多様化や拡大が一層進み、消費に伴うさまざまな問題——消費者問題——が発生しました。

わが国では、1955(昭和30年)の森永ひ素ミルク事件が消費者問題に注目を集めるきっかけになりました。その後不当表示、薬害、欠陥自動車からサラ金、霊感商法にいたるまでさまざまな問題が続発しました。

このような問題で被害にあわないために、消費者保護の立場から規制や法律などができていますが、“賢い消費者”から“自立する消費者”になることが必要であるといわれています。

最近新しい便利な商品が沢山出回っています。賢く上手に使って、心豊かな消費生活を送ることが大切でなかろうかと考えています。

佐藤 貞夫	田辺由美江	池田美代子
西山 敏雄	牧田 一生	関谷 和子
小島 正隆	宮沢 新松	佐藤 玉代
堀川 一郎	○畠山 敏雄	鈴木 良子
室岡 徹	○柳 照雄	高橋ふくえ
高橋 尚志	○齋藤 一良	井上久美子
武田 芳夫	市川 角治	水口 智子
小野島美津子	五十嵐 博	関谷 正義
○小堺 義雄	米持 昇六	若月 熊次
○小堺 悦夫	小堺 忠吉	池田きみ子
○関谷 里美	樋口 邦幸	○仲村 岩雄
市川 健司	小堺 貞男	○山本 伸夫
堀川 紀夫	柳 秋江	○柳 勇
木澤 純	柳 昌子	○重野 孝雄
千葉 寿	牧田 光子	○佐藤 一義
関谷貞代美	井口 久雄	○石田 尚文
市川栄太郎	加藤 實	
北村 政宏	西潟都伊子	



献血を
ありがとう

10月13日
役場前

※太字は成分
献血者
○印は400ml
献血者

国民年金

保険料は忘れずに。

納め忘れがあると

大変です。

第一号被保険者として国民年金に加入している皆さん、保険料の納め忘れはありませんか。納め忘れたままにしておくと、将来、老齢基礎年金を受けられる年齢になっても、納付年数が足りずに全く受けられないという悲しい結果にもなりかねません。また、万一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金も受けられなくなる可能性があります。

残念ながら、笑顔を年金を受けるために、保険料はきちんと納めましょう。なお、「口座振替」を利用することもできます。預金口座から自動的に引き落とされますので、毎月確実に納められます。納め忘れることのないように、ぜひ口座振替をご利用ください。

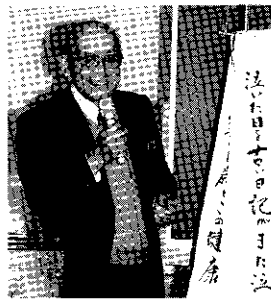
来年も元気にあいましょう

松寿大学 閉講式

「おらが講師さま」の講演、カラオケなど

十一月十二日町総合センターにおいて今年の松寿大学閉講式が行われました。

五十嵐副学長のあいさつで始まり「おらが講師さま」では美濃和英講師（福島）と池田利八講師（田野倉）が講演を行いました。



美濃和英 講師

美濃和英講師は『川柳にみる高齢者の姿』と題して、高齢者が日常つい言ってしまう愚痴、ついでにやってしまう行動やしぐさについて川柳を通じて紹介がありました。誰でも心あたりのある事柄とユーモアたっぷりの話に聴衆はうなずいたり、笑ったりしていました。

池田講師は『仏画のこころ』と題して、戦争を通じて同僚の共感を得ていました。



池田講師

戦死などその残酷さを嫌というほど知らされた氏は戦死者の供養のために、また無事生きて帰ったということに何か感じられるところがあり、仏画を描き始めたと講演されました。もともと絵が好きだったが、師事したこともなく全くの独学であったそうです。

今では仏画に向かっていると心が洗われるようだ話を結ばれました。

講演の後はお酒が配られ、琴の演奏や踊り、カラオケを楽しみ、実のある閉講式となりました。

峰方ふるさと会創立二十周年記念

芝峠温泉訪問旅行

首都圏在住の会沢・清水・桐山の出身者で組織されている峰方ふるさと会（会長秋山正三氏）では、創立二十周年の記念事業としてふるさと訪問旅行を企画され、さる十一月六日、レスト

ビレッジ峰に一行五十名が宿泊されました。

夜には地元有志の方々や町当局との懇親会が行われましたが、なかには数十年ぶりの再会を喜

ぶ人もおられ、和やかに楽しい一夜を過ごされました。

峰方ふるさと会の会員の方は、芝峠温泉の周辺の立派な変り様に驚かれておられました。レストビレッジ峰を、ふるさとの実家の無くなられた会員の方々「我が家」のような気持ちで利用して頂きたいものです。

翌日七日には、池尻の郷土資料館を見学されたり、丁度開催

されていた松代町芸能発表会を見物しお帰りになされました。短い二日間でしたが、きつとふるさと温かいぬくもりを感じられたものと思います。



▲ふるさとの盆おどりは何年ぶりかしら。

厚生大臣 表彰 鈴木林平氏受賞

氏は町身体障害者福祉会が昭和四十三年発足以来、幹事及び会長として、また郡連絡協議会

会長、県連合会理事も務められており、永年にわたり身体障害者の福祉向上のために貢献した

功績が認められ、今回の受賞となったものです。

ご本人は健康であり、受賞を契機に益々ご活躍されますよう期待いたします。



▶鈴木林平さん

（松代 七十七歳）

「モズの速贅」みつけた!!

速贅とは初物の献上品のことをいい、モズが鳳凰（ほうおう）に捧げるもので縁起が良いともいわれ、逆に悪いカヤヘビ（ひょうそ）

になるという所もある。いずれにしても何のための仕事なのか判明していない。モズの速贅の高低によりその冬の降雪量を占う地域もあり、そうであれば今回発見した場所は地上50センチであるので小雪ということになる。

（福島 高橋八十八氏提供）



▶木の枝に刺され生け贅になったカナキツチヨ（カナヘビ）

地域づくりは健康から

ラジオ体操優良団体表彰

太平友の会はユニークかつ積極的活動で地域づくりを行なっており、過去にも数々の表彰を受けていますが、このたび郵政省・NHK・ラジオ体操協会よりラジオ体操の実践によりその普及発展に貢献し、国民の健康増進に寄与したとの理由により表彰されました。

同会では五月から九月末までの間、毎朝六時半より太平広場でラジオ体操を親子で行っているものですが、おどろく事に十五年間も継続しているとのこと

であります。

授賞式は新潟市郵便貯金会館にて行われ、会長の相沢幸一さんが代表で出席され、十月末の太平収穫祭および集落道改良工事竣工祝賀会の席上で披露があり、地区全員で祝いました。



▲収穫祭の会場で披露され喜びを全員でわかちあう



▲手づくりジャンボパチンコを楽しむ子供たち

秋の空
キノコ
びりり
やぶこざきの会

やぶこざきの会による『芝罘キノコ園まつり』が今年も十一月三日に開催されました。秋晴れの中、キノコ狩り、ブナ林の散策、キノコのこま打ち、手づくりジャンボパチンコなどそれぞれに楽しみ、疲れた後は家族連れで輪になってバーベキ



▲コマ打ちの体験

ユーヤとん汁に舌鼓みを打っていました。入園者は町内はもとより、上越、柏崎、十日町方面からも大勢おとずれ三百人の人出で終日にぎわっていました。

農業祭(11月3日)

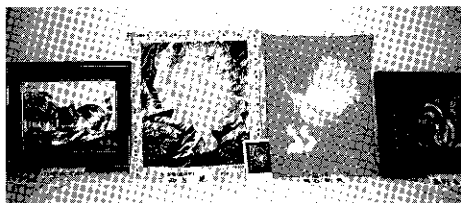


▲野菜の青空市場
当日はお天気もよく大勢の人でにぎわい、輪投げ・綱引き・モチツキなどがおこなわれた。

文化祭(11月3日)



▲力作を鑑賞する人達



▲「リハビリ教室の仲間たち」の作品。その他菊花・生花・ひょうたんなど多くの個人、グループによる作品が展示されました。

芸能発表会(11月7日)



▲おどり・民謡・太鼓・琴などなど芸達者の大集合の一日でした。



あんぽの心

東京松代会幹事長

関谷 孝



千年会15周年記念の会場で。
左側が関谷孝さん、右側が奥さんのアイさん。
(埼玉県草加市在住、千年鉄京出身)

昭和二十年終戦の頃私は育ち盛りだった。
日本は、食糧難で東京では毎日飢え死にと言う。都会から松代方面にどつと人の波が……。松代に行けば飯が食えるぞと人が集って来た。農家といえども政府に米を出すので自分で作った米も自由にならない。親父はそれが承知である。
三日にあげず夜になると石臼を引く母の姿があった。居間にムシロを敷き、その上に油紙を広げ、10ワットの裸電球の下に母の顔がある。今日もあんぽの

粉ひきがゴロゴロと音をたてる。「明日は学校の遠足だで!!」と母に言くと、母は粉ひきの手を止めて、ニツコリ笑みをうかべて、「知ってるコチア」明日は焼きおにぎりと紙ニツキを用意したと言う。私の頭程の大きなおにぎりの中には味噌漬が入っている。紙ニツキはおやつ(お菓子)の代りだ。旦那様の子供達はゆで卵を持たせるところもあった。家でもにわとりを飼って俺にもゆで卵を持たせろと母に言くと、「バカ野郎、そんな贅沢をしたら上納金を多く取

られる。」と言う。
にわたりの餌になる粗悪米を粉にして、あんぽを食って育った親父や俺はやっぱあんぽ野郎かと昔をなつかしく思う。私は今あまり頭が良くないのは、あんぽの食い過ぎか? 考え過ぎかな?

東京松代会は、ひとつのあんぽだと思ふ。粉にする前の一粒の米が会員なら、粒の集合体があんぽの皮だ。中に具がある。大根の葉もあればシソの葉もある。油もあれば味噌もある。役員の仕事が多様多様と同じである。あんぽは皮だけでもダメだし、具だけでもダメだ。会員と役員の双方が合体してあのあんぽの味となる。
東京松代会もますます松代の町民が喜んで食ってくれる、そんな会となつてほしいと願う。
「今日も明日もあんぽの心だ」。

東京松代会の皆さんへ

平成6年度 新会員募集

- 会員数 現在 855名
特典 ①松代町役場発行の「広報まつだい」毎月送呈
②幼馴染との再会、近況交流、情報交換
③会報、住所録の取得
④新年会、旅行、シンポジウム、集会などの実施
⑤郷里松代町との交流

新年会のご案内

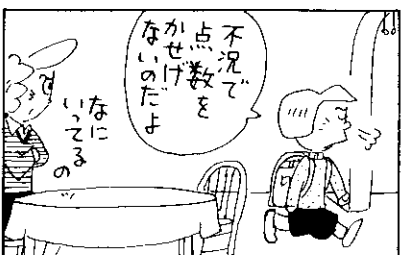
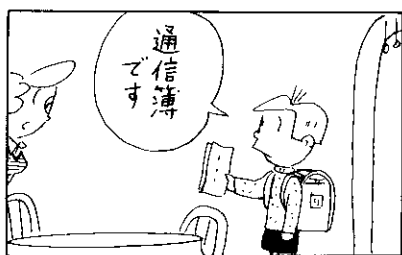
- 期 日 平成6年1月16日(日)
午前11:30~午後2:00
会 場 東急ゴールデン・ホール
(JR渋谷駅前)
会 費 男性 8,000円
女性 7,000円
※お誘い合わせの上多数ご参加ください。

お問い合わせとお申込先

松代地区	市川 昭二	03-3999-3001	伊沢地区	佐藤 正則	03-3382-0211
"	鈴木佐一郎	03-3924-6814	山平地区	小堺 昌隆	048-726-1820
峰方地区	秋山佐久代	03-3898-8534	"	武田 晃平	0486-84-5871
"	若井 謙一	03-3718-1021	奴奈川地区	牧田 嘉正	03-3678-0360
伊沢地区	石田 龍作	03-3879-0404	"	佐藤 繁夫	03-3923-0969

松代おら町ふるさと会
「世田谷ボロ市」に参加

1月の15・16日に行われる「世田谷ボロ市」に、「松代おら町ふるさと会」が参加(出店)します。ワラ細工や花ひさご、しめ飾りなどの特産品を販売します。ぜひ、ご家族連れでおこしください。



しづみ句会

稲架を解く背中に夕日温かし 紅茶
黒雲の湧きて忽ち時雨来る 淡水
ありし日の校舎そのまま柳散る 千登世
慈姑掘る顔泥まみれ日和かな 公鳴
菊香るオルガン弾く手軽やかに とし子
工房に蛇迷いくる小春かな 瀬舟

蒲生句会

信濃路をバスで縫い行く紅葉晴 千枝子
凶作といえど新米匂いけり たつお
灯火親し老女一人の手内職 六花
茶代わりと酒もてなざる菊膳 耕山
立冬やまるまる肥えし鯉もらう 泥水
懸命に西陽むさぼる干大根 月日
山笠に山ほど茸とりにつけり 鐵堂
舟模様枯葉浮かべて露大風呂 折人
近道をせしみのこづちまだとれ 翔山
ず 明るさを大地にひろげ銀杏散る ふさ女

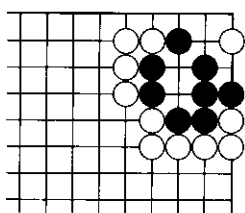
短歌

秋

富沢 和風

忘れぬしことのひとつの木の美 独楽 龍峰
暑き陽の戻らぬままに秋開けて 刈田に佇てば胸の痛むも
季来れば黄に色づきし自然著の 群るもありて心和めり
斑尾の燃ゆる紅葉の小春日に 松寿の友と秋を楽しむ
戸隠の杉にからみし蔦紅葉森の 深みに秋を彩る
*原稿募集
・短歌・俳句・詩
蒲生 津幡龍峰宛

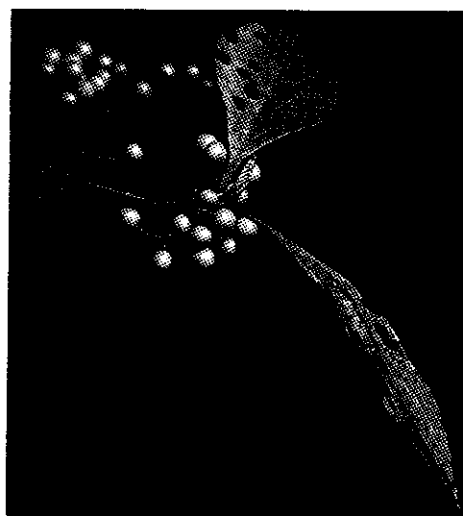
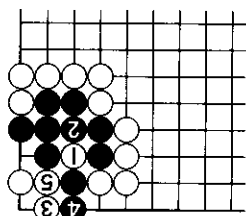
詰碁



出題 十段 武宮正樹
●白先黒死・5手まで
●ヒント: ダメツマリ。
3分で1級。1分以内で有段者。

有段者を目標して

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.



庭の草木 ムラサキシキブ (クマツヅラ科)

源氏物語の作者、紫式部と同名とは、植物名利につきるといふもの。ただし、源氏物語にも

万葉集にも出て来ないのはなはだ気の毒であろう。
なお、シキブとは、重なり合つてつく実の状態をいう。
落葉性の低木で葉は長円形、両端は尖い鋸歯が出る。花は対生した葉の脇にまとまってつき

淡紫色で、秋に紫色の果実をつける。初冬に雪冠にこぼれる紫色が人目をひく。

110番 あなたを守る ホットライン

事件事故は110番

110番制度は、昭和23年に110番が警察通報用電話として定められて以来、市民と警察を結ぶ絆として広く定着し、各種事件、事故等の早期解決に大きく貢献しているところであります。

昭和61年から毎年1月10日を「110番の日」として定め、平成6年は第9回目を迎えます。したがって、すこしでも多くの皆様から110番は、事件・事故等の緊急通報電話であることを知ってもらい、積極的な利用の促進を図ってもらいたいと思います。(安塚警察署松代幹部派出所)

Sマークご存じですか

Sマークは厚生大臣認可の標準営業約款に従って営業している理容店、美容店、クリーニング店の安心と信頼のしるしです。制度の詳細については、全国環境衛生営業指導センターまでお問い合わせください。
Standard (標準) 正確な技術
Sanitation (衛生) 美しく清潔に
Safety (安全) まかせて安心



新潟職業能力開発短期 大学校 学生募集

募集科・定員等

| 科 名 | 定 員 | 備 考 |
|-------|------|-------------------------|
| 生産技術科 | 20名 | *いずれの科も修業年限は2年で男女を問わない。 |
| 制御技術科 | 20名 | |
| 電子技術科 | 20名 | |
| 情報処理科 | 20名 | *定員には推薦による入学予定者若干名を含む。 |
| 住居環境科 | 20名 | |
| 計 | 100名 | |

応募資格

学校教育法による高等学校を卒業した者(平成6年3月卒業見込の者を含む)又は、これと同等以上の学力を有すると認められる者。

願書受付期間

平成6年1月10日(月)～

1月28日(金)

選考日 平成6年2月8日(火)

選考科目

数学(数学Iおよび基礎解析)・英語(英語I)

問い合わせ

新潟職業能力開発短期大学校
学務課

〒957 新潟県新発田市新宮町
1-7-21 ☎0254-23-2168



市川 賢司 くん
4 歳
松代 こうじや



柳 鮎美 ちゃん
5 歳
千年 しんたく



武田 拓哉 くん
5 歳
太平 まつしろや

み
ん
な
よ
く
見
て
ね
っ
!!

松代町の風景・行事を カレンダーにしてみませんか

東京松代会より

東京松代会では平成7年カレンダーの作成を企画中です。作成後は松代町全戸に贈呈する予定でおります。(会員は有料)

カレンダーには松代町の四季の風景や行事、名所旧跡など、町ならではの写真を載せます。

●●● 応募要領 ●●●

応募資格

特になし。
自作品のもの

内 容

町の四季の風景・行事・名所旧跡など
題材自由

写真寸法

四ツ切

応募時期

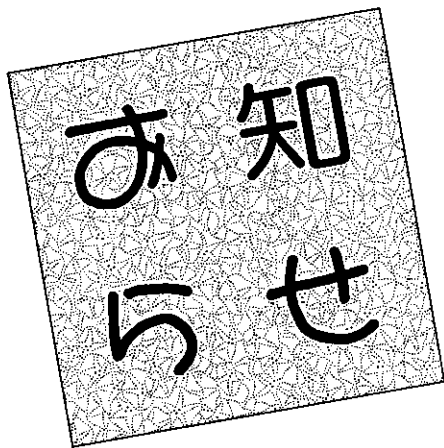
冬の部 1月3月
春の部 4月6月
夏の部 7月8月
秋の部 9月

その他

応募については不明の点あるいは詳細をお知りになりたい方は役場広報係に問い合わせて下さい。尚、応募の要領については季節ごとの始めに再度広報にてお知らせ致します。

賞 品

優秀賞には豪華賞品。又、応募者全員に粗品贈呈



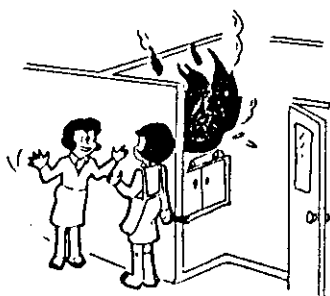
年末年始の火災予防について

長い経済不況の中、厳寒期に向かうこの時期、年末年始における火災防止に努めているところ です。

本年の火災発生件数は11月22日現在44件で、昨年同比2件の減となっています。しかし死者は4名負傷者も4名発生しており、残す期間これ以上の死傷者の発生については、絶対に防止しなければならないところです。

ついでに年末年始における火災“0”を目指していますので、くれぐれも火の元には充分注意するようお願いいたします。

点検を重ねて
築く火災ゼロ



日本ボイラー協会各種講習会のお知らせ

○小型ボイラーの特別教育講習会

| 会 場 | 期 日 | 時 間 | 定員 |
|------------------------------------|------------------------|--------|-----|
| ポリテクセンター新潟(201号室)
(長岡市住吉町1-1-1) | 平成6年1月12日(水)
13日(木) | 9時~16時 | 50名 |
| 新潟県土地改良会館(209号室)
(新潟市川岸町1-38-3) | 平成6年1月19日(火)
20日(水) | 9時~16時 | 50名 |

○化学設備関係第一種圧力容器取扱作業主任者技能講習会

| | | | |
|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------|-----|
| 上越地域職業訓練センター
(上越市高土町3丁目1-12) | 平成6年1月25日(火)
26日(水)
27日(木) | 9時~18時
9時~17時
9時~17時 | 50名 |
|---------------------------------|----------------------------------|----------------------------|-----|

新潟県推奨優良品の認定審査実施のお知らせ

県では、県産品の品質向上と販路拡張を図るため、県産品推奨制度を設けています。この制度に基づく推奨優良品の認定審査を下記により実施します。

申請資格 県内に事業の本拠がある製造又は販売業者のかたで、製造又は販売について許可や認可を必要とするものは、その許可又は認可を得ている必要があります。

推奨対象品 加工食品、繊維製品、家具装備品、金属製品、雑貨又は観光土産品であって、次のいずれにも該当しなければなりません。
・製造又は加工の最終工程が県内において施されたもの
・他の特許品又は登録品の模倣品ではないもの
・推奨優良品の認定を受けるために特別に調整したものではないこと

本 審 査 平成6年2月3日(木)

申請期限 平成5年12月28日(火)

詳しいことは、所在地の市町村役場・商工担当窓口又は県商工労働部商業振興課(☎025-285-5511 ④2769)へ。

訓練生募集

上越地域職業訓練センター

○訓練科目及びコース内容

| コース名 | 開始予定月 | 内 容 |
|----------|--------------|-----------------|
| ワープロコース | 12月・2月 | ワープロによる文書作成コース |
| 2級建築士コース | 12月 | 2級建築士資格取得コース |
| 溶接コース | 1月・2月 | JIS溶接・アーク溶接特別教育 |
| CADコース | 12月・1月・2月・3月 | 機械CAD技術I・II・III |

※上記の他に各種の能力開発プログラムが用意されています。

定員…10名~20名

場所…上越市高土町3-1-15

申込期間…各科講習開始2週間前までとします。

くわしくは、上越地域職業訓練センター、高田高等職業訓練校へ問い合わせ下さい。

☎0255-23-2690・23-0737

町長杯争奪アーチェリー大会結果

優勝 石口 牧男(松代)
二位 高橋 清(〃)
三位 市川 健一(〃)
四位 米持 忠(室野)

国の教育ローンのご案内

○お使いみち

入学時の費用、在学中の費用(授業料、下宿代、通学費など)

○ご利用いただける方

大学、短大、高校、高専、専修学校、各種学校、予備校などに入学・在学される方の保護者

○ご融資額

学生・生徒お一人につき
150万円以内

○利率 年4.6% (11月1日から引き下げられました。)

○ご返済期間

8年以内(据置は在学期間内で最長4年以内)

★くわしくは

〒943 上越市大町3-2-1
(大町小学校前)

国民金融公庫高田支店

☎0255(24)2340

戸籍の窓口

(10月26日～11月25日受付)

げんきな良い子に(出生)

山岸興平^{こうへい} 正孝・郁子^{きよこ}
(2男・太平・山岸)
齊藤菜恵^{なえ} 政志・明子^{あきこ}
(長女・松代・釜田住宅)
横尾悠理^{ゆうり} 賢治・和佳子^{わかしこ}
(長女・松代・善宗塚住宅)

ご冥福を祈ります(死亡)

中沢正則^{のりのり} 26歳
(木和田原・次郎善)
養輪ウメ^{うめ} 92歳
(犬伏・梅田屋)

※この欄に記載を希望されない方は、届出の際に戸籍係にお申し出ください。

ことわざ

*秋の日は釣瓶落し

釣り井戸のつるべが、勢いよくすべり落ちるように、秋の日は夕方になるとあっという間に太陽がしずんで日が暮れてしまうということ。

*秋葉山から火事

秋葉山にある秋葉神社は火災予防の神であるのに、そこから火事が起こるということ。つまり人に注意を与えいまいながら自分であやまちを犯すことのたとえ。秋葉山から火事、ともいう。



関谷和子^{わかしこ}さん(松代)

秋の終わりをづけ、少しずつ冬に近づいている気配がある。一日一日、日が短くなってきた。草木が枯れ、風景が一層

寒い冬がやってくる!!

淋しく、寒い冬を引き立ててくれる。朝夕、冷え込み、そして吐く息が白い。もうすぐ、シンシンと雪が降り積もって山のようになる。また、寒い冬がやってくる。

こんな冬が私はとても苦手すぎるほど苦手である。苦手よりも嫌いだと言った方が正しいかもしれない。嫌がっている理由は、寒さとスキーである。それがなければ良いと思うのだが……。雪が降り、そしてスキーをするのはやはり冬にしかできない。私は今年、その嫌いなスキーに挑戦する。しかし、なかなかウエアなど買いに行こうとしな

い。何しろ嫌いなことをするのだから無理もない話だ。スキー場へ行くのもまた、初めてなんだから。今年の冬はまず、地元にあるファミリースキー場で厳しい訓練!?をしてからいろいろなスキー場へ出向こうと考えている。(周りにとても迷惑かけながらもスキーをしているかもしれないが。)

さて、今の時季ほど夜空がきれいだと思う。夜、窓を開け空を見ながら読書をするのが好きである。冷たい風の中、本に夢中になるのが良い。星を見ながら何かをするってのもいいのでは!!

▼今年冬の気象予想は暖冬小雪ということではば一致しているようです。▼今誌で紹介しました『モズの速報』は高橋八十八さんより聞かされるまで私自身知りませんでした。その不思議な習性から小雪が証明されました。▼政治改革、景気の低迷、さらにコメ問題と厳しい情勢が続くなかで『まちづくりは足元を見直すことである』との萩原氏の提言がズシリと重く感じられます。小雪の冬みんな地域足元を見直したら如何でしょうか。▼来年は成年です。昔から『犬も歩けば』といいますが、なんとかして幸運にあたるよう期待しながら今年最後の編集後記といたします。それでは皆さん良いお年を。

編集後記

| | | |
|-------------|---------|--------|
| 男 | 2,438人 | (-8人) |
| 女 | 2,518人 | (-4人) |
| 計 | 4,956人 | (-12人) |
| 世帯数 | 1,498世帯 | (-2世帯) |
| 出生 | 2人 | 死亡 3人 |
| 転入 | 6人 | 転出 17人 |
| (5年11月末日現在) | | |
| 人口の動き | | |